

令和 8 年 3 月 9 日
健康部保健予防課

RS ウイルス母子免疫ワクチンの定期接種開始について

1 概要

11 月 19 日厚生労働省のワクチン分科会が、妊婦を対象とした RS ウイルス母子免疫ワクチンの定期接種化の方針を固めた。

これを踏まえ江東区では、定期予防接種として令和 8 年 4 月 1 日より実施する。

(厚生労働省事務局案)

予防接種：RS ウイルス母子免疫ワクチン定期予防接種

開始日：令和 8 年 4 月 1 日より定期接種として実施

対象者：妊娠 28 週 0 日～36 週 6 日の妊婦

ワクチン：ファイザー社（商品名：アブリスボ）30,000 円～35,000 円

※RS ウイルス感染症とは

RS ウイルスは年齢を問わず何度も感染を繰り返しますが、初回感染時には、より重症化しやすいといわれており、特に生後 6 ヶ月以内に感染した場合には、細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。生後 1 歳までに 50%以上が、2 歳までにほぼ 100%の乳幼児が少なくとも一度は感染する、とされています。

2 対象者及び接種者

想定対象者：およそ 4,500 人（※）母子保健手帳交付数を参考に算出

想定接種者：接種率 9 割を想定（およそ 4,000 人）

3 接種費用（予定）

全額免除

4 周知方法

①令和 8 年度に妊娠届を提出した妊婦へ、母子保健手帳とともに予診票を配布

②令和 7 年度に妊娠届を提出した妊婦へ、区報、ホームページにて電子申請を案内